

(様式例)

令和3年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・定期的に漢字の小テストを行い、新出漢字及び既習漢字の復習を継続して取り入れた。その結果、漢字の学習に継続的に取り組む生徒が増えた。
- ・日常的に読解のポイントを学ぶ機会を増やし、文章の読み方を身に付ける取り組みをした。その結果、一人でも工夫して読解する生徒が増えた。
- ・言語活動を多く取り入れ対話的学習を行う中で、自分自身の考えをまとめ、言語化するための指導を取り入れた。その結果、自分の考えを相手に伝える能力が向上した。

(2) 課題

- ・国語への関心や意欲を高められるよう ICT 教材などを用いて工夫する必要がある。
- ・日常的に読解のポイントを学ぶ機会を引き続き行い、文章の読み方を身に付けるとともに、苦手意識を軽減させる必要がある。
- ・自分の考えを言語化すること自体が苦手な生徒が多い。また、相手を意識して、論理的に文をまとめるなどの学習も苦手である。言語活動を多く取り入れ対話的学習を行う中で、自分自身の考えをまとめ、言語化するための指導も取り入れる。また個人で考える時間をしっかり確保し、言語活動にきちんと参加できる態勢を整えさせる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	令和元年度結果
第1学年	目標値を上回っている。		
第2学年	目標値を上回っている。	目標値をやや上回っている (第1学年時)	
第3学年	目標値を上回っている	目標値をやや上回っている (第2学年時)	目標値をやや下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。 言葉の特徴や使い方の知識力を上げる必要がある。	目標値をやや下回っている。 話す力、聞く力を付ける必要がある。	目標値を下回っている。 記述に対する力と意欲を向上させる必要がある。

② 第2学年

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
目標値を上回っている。 記述や聞き取ることに對しての意欲を高める必要がある。	目標値を上回っている。 特に話し手の工夫を捉える力が上昇した。	目標値を上回っている。 特に自分の意見を書く力が高い。	目標値を上回っている。 特に、文章の要旨を捉える力が高い。	目標値をやや下回っている。 漢字を書く力を伸ばすために、小学校の漢字の復習も行う必要がある。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
目標値を上回っている。 特に話し方の工夫を聞き取る意欲が高い。	目標値を上回っている。 特に話し方の工夫を聞き取る能力が高い。	目標値を上回っている。 特にグラフから読み取ったこと内容を書く力が高い。	目標値をやや下回っている。 特に登場人物の心情を読み取る力をつける必要がある。	目標値をやや下回っている。 特に漢字を読む力をつける必要がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・漢字学習を習慣化させるために、宿題ノートおよび漢字テストを定期的に行う。	・読む力をつけるために、読解のポイントを押さえる機会を設け、定着させる。 ・表現力をつけるために言語活動の機会を多く設け、学び合う環境をつくる。 ・定期的に文章を書く機会を設け、書き方を定着させる。	・見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう、目標の提示を行う。 ・日頃から学習を振り返る機会を設け、学習の調整力を高める。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・漢字学習を習慣化させるために、テストを定期的に行う。 ・文法の学習を行い、わからないところを教え合える機会を設ける。 ・基本的な部分を繰り返し学習する機会を設け、基礎的な力を付けていく。	・読む力をつけるために、読解のポイントを押さえる機会を設け、定着させる。 ・表現力をつけるために、言語活動の機会を多く設け、学び合う環境をつくる。 ・定期的に文章を書く機会を設け、書き方を定着させる。	・言語活動を通して、互いに伝え合う面白さや楽しさを感じさせ、主体的に学ぶ意欲を高める。 ・日頃から学習を振り返る機会を設け、学習の調整力を高める。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・漢字学習を習慣化させるために、テストを定期的に行う。・文法の学習を行い、わからないところを教え合える機会を設ける。・基本的な部分を繰り返し学習する機会を設け、基礎的な力を付けていく。	<ul style="list-style-type: none">・読む力をつけるために、読解のポイントを押さえる機会を設け、定着させる。・表現力をつけるために、言語活動の機会を多く設け、学び合う環境をつくる。・定期的に文章を書く機会を設け、書き方を定着させる。	<ul style="list-style-type: none">・言語活動を通して、互いに伝え合う面白さや楽しさを感じさせ、主体的に学ぶ意欲を高める。・日頃から学習を振り返る機会を設け、学習の調整力を高める。